

宇美小・宇美中出身 内野艶和さんが大活躍!

12月10日(金)～13日(月)に静岡県伊豆市で開催された『第90回全日本自転車競技選手権トラック』において、宇美小・宇美中出身の内野艶和さんが好成績を収めました。

【結果】

エリミネーション(女子)・・・2位
オムニウム(女子)・・・・・・・2位
マディソン(女子)・・・・・・・1位
ポイントレース(女子)・・・・1位



▲表彰後の内野さん



▲レース中の内野さん(先頭)

【主な成績】

大会名	種目	成績
2019ジュニア世界選手権	ポイントレース	金
2019ジュニアアジア選手権	オムニウム	銀
2019ジュニアアジア選手権	スクラッチ	銀
2020ジュニアアジア選手権	ポイントレース	金
2020全日本トラック	スクラッチ	銀
2020ジュニアアジア選手権	オムニウム	銅
2020全日本トラック	オムニウム	銅
2020全日本トラック	マディソン	銅
2020全日本トラック	ポイントレース	銅

選手紹介

自転車競技中長距離種目選手。高校時代に全国選抜の女子個人ロードレースを2連覇。2019年のジュニア世界選手権では初出場ポイントレース優勝。120回生として日本競輪選手養成所に入所し、卒業記念レースでは2位となった。



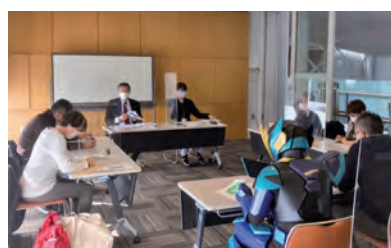
競技種目に関する説明は、こちら

▲(公財)日本自転車競技連盟ホームページ

うみまちトークカフェ開催

1月22日(土)と23日(日)に、令和5年度からの8年間の新たなまちづくりの指針となる「第7次宇美町総合計画」の策定に向けて、まちづくりに関する意見交換をするイベント「うみまちトークカフェ」を開催しました。昨年末に開催した宇美商業高校編に引き続き、今回はさまざまな分野に携わる方々が参加し、これからの宇美町のまちづくりについて話し合いました。

こちらでいただいたご意見は、計画案作成の際の参考にさせていただきます。



▲町内でボランティア活動をしているばってんジャー&パリばってんの姿も



▲宇美商業高校生からは町の魅力発信についてのご意見が



▲宇美町を愛する皆さんから、たくさんのご意見をいただきました。

第22回宇美町少年・少女の主張大会最優秀賞 令和3年度「青少年の声」標語最優秀賞・優秀賞作品

宇美町青少年育成町民会議主催の以下の事業の優秀作品を掲載します。

「宇美町少年・少女の主張大会」の目的

子どもたちに、広い視野をもって論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力、柔軟な発想力や創造力などを身につけてもらうことを目的としています。



聴覚障がい者の苦勞

宇美中学校3年 川村 菜絵

「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」

私達は普段、声を使って会話をしています。聴覚障がい者、ろうあ者の方々は日頃から手話を使ってコミュニケーションをとっています。私の耳は聞こえますが両親がどちらも聴覚障がいを持っているため家庭内での会話はほとんど手話を用いています。そんな聴覚障がい者の方々は今、とても苦勞して生活しているのです。

なぜ、聴覚障がい者は苦勞しているのでしょうか。私と両親の体験談をふまえながら、その苦勞について知ってほしいと思います。

苦勞の一つ目は、手話の読みとり間違いが多いことです。手を使って会話をするため早く動かされると、何て言っているのか全くわかりません。ここで実際にあった話をします。

夜、私は母に、「明日の朝ご飯何が良い?」

と聞かれたので、

「たまご焼きが良い。」

と言いました。母は快く了承してくれました。しかし、次の日、起きてテーブルを見るとなんとそこには目玉焼きがあったのです。

「私、たまご焼きって言ったよね!目玉焼きなんて頼んでない!」「私には目玉焼きに見えた!」

と、くだらない喧嘩をしてみました。似ている動きをする手話もあるので非常に間違いやすく伝わりにくいです。

苦勞の二つ目は、補聴器をつけての生活です。聴覚障がい者は音を聞き取るために補聴器という器具を耳にはめて生活しています。補聴器がないと障がい者が重い人は全く音が聞こえなくなってしまうため、日常生活にかかせない大切なものなのです。しかし最近、紐なしイヤホンが発売されたためか、補聴器とイヤホンを間違えてしまう

人が多くいるのです。私の母の友人の話では、補聴器をつけて自転車に乗っているとおまわりさんに止められ、「イヤホンで音楽をききながら自転車に乗ってはいけません!」と言われ、没収されかけたそうです。

このように、今まではなかったような苦勞もしているのです。

このような苦勞を伝えても、「目が視えないわけじゃないし、足も使えるから他の障がいを持っている方よりかは全然楽なのではないか。」と思う人もいるかと思いますが、そこで三つ目の苦勞です。

苦勞の三つ目は、口の動きが読み取れないことです。聴覚障がい者の方々はお店などに行くと常に店員さんの口を見て、

「ポイントカードはお持ちですか。」

「レジ袋はご利用なさいますか。」

などを読み取り返事をしています。しかし今、コロナウイルスの影響で店員さんは皆、マスクを着用しています。そのため、何を言っているのか何回繰り返して言われてもわからず、通常通りに過ごすことができないのです。なので、買い物に行くときはできるだけ付き添うようにしています。

このように聴覚障がい者が苦勞を重ねている中、わざわざ紙に書いて伝えて下さったり、ありがとうございます。たとえ手話で伝えて下さったりと、心優しい方々に何人も出会えました。このようにおたがい苦勞しているからこそ、思いやりが大切になるんだと実感しました。こんな状況で苦勞していても前を向いて過ごしている両親をこれからも隣で支えていきたいです。

町公式YouTubeに動画を投稿しています。
(掲載終了：3月31日(木))



小学生



中学生

「青少年の声標語」とは

「学校・地域・家庭」をテーマに、「ふるさと・宇美町」の未来について、それぞれの学年の学習や体験に応じた内容を20文字以内で表した作品です。

「青少年の声標語」結果

宇美南中学校

優秀賞 3年 小材 海晴さん
あいさつと 笑顔でつなぐ 心の輪

宇美東中学校

最優秀賞 2年 安部 なるみさん
ただいまと いえるふるさと 宇美町で

宇美中学校

優秀賞 2年 井筒 日茉莉さん
ふみ出そう あなたはそれが 出来るはず